

### (3) 3年生指導案

3年 Lesson 1 世界のあいさつを知らう (1/4)			
1, 2年の復習とアルファベット			
単元の目標	世界のあいさつを聞いたり英語であいさつしたりするための表現の技能を身に付け、積極的に友達とあいさつしようとする。さらにアルファベットの練習をする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現		
What's this in English? を使って1, 2年の単語を聞きあって復習する。知りたい単語をALTに質問すると小文字	What's ~ in English? 既習の単語、アルファベット大文字		
準備	デジタル教材、アルファベットカード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hello, ~先生! T: How're you doing?(How are you?)? C: (I'm) Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song ♪S&C 26 Bingo♪ ○Today is Monday を読む		
導入 10分	○復習 What's ~ in English? を使って今までの子どもた英語を子どもに質問する。(色、形、野菜、果物、乗り物、魚、動物、昆虫、顔、体、食べ物、数) What's <i>kyurasaki</i> in English? (It's) purple.	○簡単な英語から始めて、難しいものに移る。	
準備 7分	○英語でなんて言うの? 今まで学習した英語をグループで、What's ~ in English? で聞きあうゲームをする。 ① 5, 6グループに分かれる。 ② グループで質問する言葉を決める。 ○英語でなんて言うの (ALTがいる場合) 知りたいことば(単語)を質問する。グループで考える。ALTが日本語が不得意な場合は、ジエスチャー、ヒント、絵などを使ってWhat's this in English? を使って聞いてみる。*教師は子どもがぶさざけた、失礼な質問がないかをチェックする。	○全員が参加できるようにルールを考える。	
活動 15分	○英語でなんて言うの? ①順番を決めて、質問する。 ②他のグループが答える(ポイントが入る)。		◇ What's this in English? を使って質問ができる。
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

### 3年 Lesson 1 世界のあいさつを知らう (2/4)

1, 2年の復習とアルファベット			
単元の目標	世界のあいさつを聞いたり英語であいさつしたりするための表現の技能を身に付け、積極的に友達とあいさつしようとする。さらにアルファベットの練習をする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現		
世界の国と、「こんにちは」の言い方を知り、その中でなぜ英語を学ぶのかを考える。英語のいろいろなあいさつを学ぶ。	Hi, Hello, Good morning, Goodbye, Good night.		
準備	デジタル教材、Hi, Friends 1, アルファベットカード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song & Chants 26 'Bingo'		
導入 8分	○Let's listen 2 HF1 p.4 Let's listen 2を聞いて、世界の「こんにちは」がどのような発音されるかを学ぶ、その中で英語をなぜ学ぶかを考える。	○世界で一番多くの国で話されているのが英語であることを理解させる。 *人口では中国	◇興味・関心
活動 10分	○Let's listen 1 HF1 p.3 Let's listen 1を聞いて、英語のいろいろな「こんにちは」を復習する。 Good morning, Goodbye, Good night. など	○Good morning は正午まで、Hi, Hello はいつでも使える。Good night は夜には、さようならの意味にもなる。	
活動 12分	○時刻に合わせてこんにちはは教師が、時刻を言うと、あいさつを変えて友達と言い合う。	○算数セットの時計を準備しておくこと便利。	◇あいさつの違いを時間によって使い分けられる。
振り返り 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 1 世界のあいさつを知ろう (3/4)			
1,2年の復習とアルファベット			
単元の目標	世界のあいさつを聞いたり英語であいさつしたりする活動を通して、世界には、たくさんの国と言葉があることを知り、英語であいさつをするための表現の技能を身に付け、積極的に友達とあいさつしようとする。さらにアルファベットの練習をする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現		
アルファベットの読み方を復習し、書き方を学ぶ。 Hi, Hello, Good morning, Goodbye, Good night. ルファベット大文字と小文字			
準備	デジタル教材, アルファベットカード, Hi, Friends 1		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song & Chants 26 "Bingo"		
<b>導入</b> 5分	○あいさつの復習 世界のあいさつを復習し、時刻によるあいさつの違いをもう一度実際に行ってみる。		
<b>活動</b> 10分	○アルファベットの歌を歌う ○PWP アルファベット 大文字 アルファベットの形と書き方の特徴を説明する。	○アニメーションが多く使われているので前もって確認しておく。 ○大文字だけにします。	
<b>活動</b> 12分	大文字を書いてみる。 ○文字活動 大文字 次のようなカードを1枚ずつ持ち、順番になるように仲間を探す。 ABC DEF G HIJK LM NOPQ RS TUVW XYZ *このようなカードをクラス人数分用意する。切り方は変化を持たせる。	○全員が参加できるようなルールを考える。	
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 1 世界のあいさつを知ろう (4/4)			
1,2年の復習とアルファベット			
単元の目標	世界のあいさつを聞いたり英語であいさつしたりする活動を通して、世界には、たくさんの国と言葉があることを知り、英語であいさつをするための表現の技能を身に付け、積極的に友達とあいさつしようとする。さらにアルファベットの練習をする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現		
アルファベットの読み方を復習し、書き方を学ぶ。 アルファベット大文字と小文字			
準備	デジタル教材, 4線のシート, アルファベットカード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song & Chants 26 "Bingo"		
<b>導入</b> 12分	○PWP アルファベット 小文字 アルファベットの形と書き方の特徴を説明する。 小文字を書いてみる	○アニメーションが多く使われているので前もって確認しておく	◇4線までの高さの違いがわかる。 ◇大文字と小文字の違いがわかる
<b>活動</b> 10分	○文字活動 小文字 アルファベットカードを順番に並べる。(グループで協力する)		
<b>活動</b> 10分	○文字活動 小文字 アルファベットメッセージゲーム(最後の子どもが伝えられたアルファベットを選ぶ)		
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 2 初めまして (1/3)			
単元の目標	英語で友達とあいさつや名刺交換をする活動を通して、初対面の人と会ったときのあいさつややり取りの仕方を知り I'm ~. Nice to meet you. 等の表現の技能を身に付け、積極的に友達とあいさつしようとする。		
	本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現	
準備	デジタル教材、えいごリアン I'm ~. Nice to meet you. Nice to meet you, too.		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	<p>○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○Song Bingo ○えいごリアン掲載 1-①-1 ユージ、マイケルに会う。</p>		
導入 10分			
活動 10分	<p>○あいさつの練習 クラスを2つに分け、担任の後について2、3回練習する。(担任は立ち位置を変える等工夫して2役やる/交代して2、3回練習する。次にペアにして練習する。 [I'm ~. Nice to meet you.] [I'm ~. Nice to meet you, too.]</p>	<p>○(ALT)さらに担任とALTでデモンストレーションをみせる。 [I'm ~. Nice to meet you.] [I'm ~. Nice to meet you, too.] ○(ALT)一方は担任、他方はALTの後について練習する。 ○最初、全員で言ってみて、その後、ペアで練習する。 ○最初、全員で言ってみて、その後、ペアで練習する。</p>	◇初対面のあいさつができる。
活動 12分	<p>○初めましてのごあいさつ 教師と子ども一人ひとりであいさつする。 次に子ども同士であいさつする。 [I'm ~. Nice to meet you.] [I'm ~. Nice to meet you, too.]</p>		
振り返り 3分	<p>○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.</p>		

3年 Lesson 2 初めまして (2/3)			
単元の目標	英語で友達とあいさつや名刺交換をする活動を通して、初対面の人と会ったときのあいさつややり取りの仕方を知り I'm ~. Nice to meet you. 等の表現の技能を身に付け、積極的に友達とあいさつしようとする。		
	本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現	
準備	デジタル教材、4線のシート、へボン式文字表、名刺カードクラス人数分×5、6枚 Hi, I'm ~. Nice to meet you. Nice to meet you, too.		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	<p>○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song The months of the Year</p>		
導入 15分	<p>○PWP 文字活動 ①へボン式ローマ字の読み方、書き方を学習する。 ②自分の名前を書いてみる。 * 文字表の自分の名前の文字に○をつける。 * 名刺より少し大き目の紙に書く。</p>	<p>○名前、アルファベットの書き方をアドバイスする。 ○最初の文字を大文字にすること、気を付けたい文字を確認する。</p>	◇自分の名前を英語で書ける。
活動 7分	<p>○初めましてのごあいさつ クラスを2つに分け、前時のあいさつを2、3回練習する。役割を交代して練習する。2、3回教師が子ども何人かと同じようにやってみる。隣の子ども同士で練習する。 [I'm ~. Nice to meet you.] [I'm ~. Nice to meet you, too.]</p>		
活動 10分	<p>①教室前方にテーブルを置き、子ども全員の名刺を上に置いてアットランダムに置く。 ②1列目の子どもが全員来て、自分の名刺を探し、テーブルの反対側にいる教師に名刺を渡しながら「I'm ~. Nice to meet you.」と言い、教師の言ったところに位置を移す。 ③次に2列目の子どもが来て、自分の名刺をさがし、「I'm ~. Nice to meet you.」と言いながら同じ列の1列目の子どもに名刺を渡す。子どもは「[I'm ~. Nice to meet you, too.]」と答える。 ④同じように繰り返し、早く終わった列の勝利。</p>	<p>○列を中央で半分に分けて、子ども名刺をそれぞれ分けておいておく。 ○教師は最初だけ言い終わったら、子どもがいろいろ加減にならないように、しっかりと聞いている。 ○次回の活動のために名刺を7、8枚作成しておく。</p>	◇自分の名刺が識別できる。(アルファベットの識別) ◇あいさつができる。
振り返り 3分	<p>○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.</p>		

3年 Lesson 2 初めまして (3/3)			
単元の目標	英語で友達とあいさつや名刺交換をする活動を通して、初対面の人と会ったときのあいさつややり取りの仕方を知り I'm ~. Nice to meet you. 等の表現の技能を身に付け、積極的に友達とあいさつしようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 I'm ~. I'm from Japan. Nice to meet you.		
準備	デジタル教材、前時の名刺、えいごリアン		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song The months of the Year ○えいごリアン視聴 1-①-4 自己紹介ゲーム		
導入 10分			
活動 7分	○I'm from ~. の言い方を学ぶ [I'm from ~.] に国、又は、県名 (都市名) を入れて練習する。 ○自己紹介をペア、次にグループで練習する。	○英語であいさつする対象は海外の人であるから、出身を言うのは普通である。クラスの友達同士なら英語であいさつすることはあくまでも練習の意味でとらえない。 ○活動の前に必ずモデルを見せる。 ○できれば、留学生のゲストがいると臨場感が出る。 *日本人である場合は I'm from ~. を言う必要はないので、ここでは省いてもよい。	◇初対面のあいさつで出身を加えて言うことができる。
活動 15分	○初めまして、名刺交換 II [I'm ~. I'm from ~. Nice to meet you.] と言いながら友達と名刺を交換する。交換した名刺を教科書に貼る(子ども同士で練習する時は自分の好きな国を I'm from ~. と言っても良いことにする)。		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 3 気分を伝えよう (1/3)			
単元の目標	ジェスチャーや絵カード等を用いて行うゲーム等の活動を通して、How are you? に対する答え方やジェスチャーの種類は様々あることに気づき、自分の気分を表すための表現の技能を身に付け、友達同士で気分を積極的に伝え合おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 hungry, thirsty, tired, hot, cold How are you? Good, but I'm a little hungry.		
準備	デジタル教材、えいごリアン、絵カード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song The Months of the Year ○音と文字 ○えいごリアンを視聴 1-②-1 みんななこんには hungry, thirsty, tired, hot, cold, How're you doing? (How are you?) と聞かれた時 Good, but I'm a little hungry. 等と元気が元気でないかを言っているから、つけたす方がよい言い方であることを学ぶ。		
導入 10分			○"How are you?" に対する答えは、突然 "I'm tired." 等とマイナスな内容を言わない方がよい。"Good, but I'm tired." 等のように付け足すのが、感じの良い言い方。
活動 12分	○練習 ①教師が英語を言って、子どもがジェスチャーをする。 hungry, tired, thirsty, hot, cold ②教師がジェスチャーをして、子どもが英語を言う。	○先に、英語を聞く練習をしてから、話す練習へと移る。	◇hungry, tired, thirsty, hot, cold の意味がわかかって、言える。
活動 10分	○ジェスチャーゲーム (グループに絵カード配布) ①グループになる。 ②絵を見て一人の子どものジェスチャーをする。 ③他の子どもが当てる。	○グループのメンバーが一斉にジェスチャーしてほかの子どもの当てもよい。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 3 気分を伝えよう (2/3)			
単元の目標	ジェスチャーや絵カード等を用いて行うゲーム等の活動を通して、How are you?に対する答え方やジェスチャーの種類は様々あることに気付き、自分の気分を表すための表現の技能を身に付け、友達同士で気分を積極的に伝え合おうとする。	単時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 hungry-food, sleepy-pillow, tired-chair, hot-fan, sad-handkerchief, thirsty-water, cold-blanket, good-smile How are you? Good, but I'm a little ~. Here you are.
準備	デジタル教材、えいごリアン、絵カード	学習過程	教師の支援 (☆) 留意点 (○)
活動	活動内容 (○)	評価のポイント	(◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song The Month of the Year ○音&文字 ○えいごリアンを視聴 1-②-2 「ご機嫌いかが!」 ○子どもに絵カード配布 hungry-food, sleepy-pillow, tired-chair, hot-fan, sad-handkerchief, thirsty-water, cold-blanket, good-smile 教師が Good, but I'm hungry. と言ったときにどれを渡すかを子どもに聞きながら、Here you are.等と渡す回を練習する。 ○当てはまるカードがなければ Oh, really. と 言う練習もする。 ○練習	○絵カードの英語は言えなくとも良い。あいさつの意味がわかかって、正しい絵カードが渡せればよい。 ○Oh, really. をそつげなく言わないように注意。 ○必ず例をやって見せる。 ○グループを回り、アトバイスする。 ○日本語を禁止とする。 ○気分を答えるときは、自分の本当の気分を答える。 ○カードがすべてなくなっても、制限時間までは活動を続ける。	
<b>導入</b> 12分	○練習 ペアになり、How're you doing? or How are you? と聞いて (I'm) Good. But I'm ~ と答えた後、Here you are. と言いカードを渡す。これどうぞ ①各自8枚の絵カードを持ち、歩き回る。 ②誰かと出会ったら Hi, などの挨拶をし、まず片方(A)が How're you doing? または How are you? と質問する。 ③もう片方(B)が Good, but I'm ~ 等と答える。 Aは適当なカードを Oh really. Here you are. と言いながら渡す。適当なカードがなければ、Oh really! だけと言って、Bye と別れる。 ④今度は B→A と役割を変えて同様のやり取りをする。 ⑤制限時間以内に出来るだけ多くの友達と会話をする。		
<b>活動</b> 5分	○練習 ペアになり、How're you doing? or How are you? と聞いて (I'm) Good. But I'm ~ と答えた後、Here you are. と言いカードを渡す。これどうぞ ①各自8枚の絵カードを持ち、歩き回る。 ②誰かと出会ったら Hi, などの挨拶をし、まず片方(A)が How're you doing? または How are you? と質問する。 ③もう片方(B)が Good, but I'm ~ 等と答える。 Aは適当なカードを Oh really. Here you are. と言いながら渡す。適当なカードがなければ、Oh really! だけと言って、Bye と別れる。 ④今度は B→A と役割を変えて同様のやり取りをする。 ⑤制限時間以内に出来るだけ多くの友達と会話をする。		
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 3 気分を伝えよう (3/3)			
単元の目標	ジェスチャーや絵カード等を用いて行うゲーム等の活動を通して、How are you?に対する答え方やジェスチャーの種類は様々あることに気付き、自分の気分を表すための表現の技能を身に付け、友達同士で気分を積極的に伝え合おうとする。	単時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 hungry, thirsty, tired, hot, cold, sleepy, sad Good, Great. OK. Not so good. How are you? Good, but I'm a little hungry.
準備	デジタル教材、	学習過程	教師の支援 (☆) 留意点 (○)
活動	活動内容 (○)	評価のポイント	(◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song The Months of the Year ○音&文字 ○教師がモデルダイアログをする。 教師と子どもの代表がモデルダイアログ席の隣でペアを組み練習 A: How are you? B: (I'm) Good, and you? (How about you?) A: I'm good, but I'm hungry. *Here you are. はもう使わなくても良い。 ○上記の表現を使って5人とあいさつをするように、子どもに言う。 ○Good 以外の言い方も練習する。 "Great.", "OK.", 本場に具合の悪い時は "Not so good." を使う。 全体でよく練習する。 ○友だちとあいさつしよう 時間内に友達とたくさん挨拶し、great, good, OK, not so good それぞれ何人いるか調べる。 A: Hi. B: Hi. A: How are you (doing)? B: (I'm) Good. How are you? A: I'm great. Bye! B: Bye! (AB それぞれ○を書き込む) ○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.	○急に、活動を行うのではなく、必ず、口慣らしを教回してから次の活動に入る。 ○男女のパラダンスを考えてあいさつさせようにする。教師は交互に全体を見たり、部分を見たりしながら気を配る。 ○気持ちを込めて表現するようにうながすが(表情、口調など)。 ○気持ちを込めて表現するようにうながすが(表情、口調など)。 ○気持ちを込めて表現するようにうながすが(表情、口調など)。 ○気持ちを込めて表現するようにうながすが(表情、口調など)。	
<b>導入</b> 10分	○練習 ペアになり、How're you doing? or How are you? と聞いて (I'm) Good. But I'm ~ と答えた後、Here you are. と言いカードを渡す。これどうぞ ①各自8枚の絵カードを持ち、歩き回る。 ②誰かと出会ったら Hi, などの挨拶をし、まず片方(A)が How're you doing? または How are you? と質問する。 ③もう片方(B)が Good, but I'm ~ 等と答える。 Aは適当なカードを Oh really. Here you are. と言いながら渡す。適当なカードがなければ、Oh really! だけと言って、Bye と別れる。 ④今度は B→A と役割を変えて同様のやり取りをする。 ⑤制限時間以内に出来るだけ多くの友達と会話をする。		
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 4 算数の問題を解いてみよう (1/3)			
単元の目標	1~20までの数字を復習しながら、英語で行うビンゴや計算問題等の活動を行う。数字を表す英語には似たような音声のものがあることなどに気付かせながら、それらを使って積極的に友達と計算問題等に取り組みようとする。さらに、30, 40, 50, 100の数字を学習する。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 Thirty, forty, fifty, ~ one hundred		
準備	デジタル教材、ビンゴシート、数字カード(チャートをコピーして1つずつ切り分ける)		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song ♪S&C 15 The Months of the Year ♪ ○音と文字 ○Spot Can Count を読む。		
<b>導入</b> 10分	○MOVIE① 数字ライムの練習 (1~20までの数字を復習する) ○20秒で言おう 7, 8人のグループに分け、タイムを計りながら各グループで1~20までを一人ずつ順番に言っていく。20秒に近かった方が勝ち。早すぎても遅すぎてもよくない。	○練習もさせる。スタートの子どもを変えて再度行っても良い。 教師の支援があってもよい	◇2ケタの数字を聞いてわかる。
<b>活動</b> 10分	○MOVIE 2 (対比練習) (12, 20(13,30)~(19,90)の数字の発音を対比させながら導入し、練習する。 さらにどちらを言ったかあてさせるとよい。		◇聞いてわかる。
<b>活動</b> 12分	○Bingo game (4 x 4) 選んだ数字を最初に見せずに聞かせて、何の数字か考えさせる。ビンゴ表の中のどの数字か子どもに示させる。(繰り返させるとよい) 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100は必須で、11~20までの数字を7個入れる。	○黒板を使いクラス全体で行う。カード等で数字を選び、上と同様に見せる前にまず聞かせ、一呼吸おいて数字を見せる。その後繰り返させる。	◇13と30などの音声の違いに気づく。
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 4 算数の問題を解いてみよう (2/3)			
単元の目標	英語で行うビンゴや計算問題等の活動を通して、数字を表す英語には似たような音声のものがあることなどに気付かせ、数字を表す英語を身に付けながら、それらを使って積極的に友達と計算問題等に取り組みようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 Thirty, forty, fifty, ~ one hundred		
準備	デジタル教材、ストリップウォッチ、数字カード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 12分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song ♪S&C 15 The Months of the Year ♪ ○音と文字 ○Spot Can Count を読む。		
<b>導入</b> 10分	○MOVIE② (対比練習) ○12, 20, 13, 30, 14, 40, ~ 19, 90の中からkey word gameを行う。 ○10秒で言おう 2グループに分け、タイムを計りながら各グループで10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100までを一人ずつ順番に言う。10秒に近かったグループがよい。グループで助け合っても良い。	○teen とtyの発音の違いに注目させる。	◇13と30などの音声の違いに気づく。
<b>活動</b> 10分	○順番に並ぼう ①2グループに分かれる ②それぞれのグループで、今まで学習した数字(1~20~100)カードの中から、一人1枚ずつ持たせる。 ③お互いに英語で数字を言い合い、小~大へと並ぶ。		○日本語で言ったり、数字カードを見せたりしないように注意する。
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 4 算数の問題を解いてみよう (3/3)			
単元の目標	英語で行うビンゴや計算問題等の活動を通して、数字を表す英語には似たような音声のものがあることなどに気付かせ、数字を表す英語を身に付けながら、それらを使って積極的に友達と計算問題等に取り組もうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 twenty one, (two, three, four, five, six seven, eight nine) thirty ~ one hundred		
準備	デジタル教材、数字カード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 12分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○Song ♪S&C 15 The Months of the Year ♪ ○音と文字 ○Spot Can Count を読む。		
<b>導入</b> 10分	○出席番号ですわろう 全員を起立させる。最初は出席番号を順番に言って着席させる。次にもう一度起立させ、数字をランダムに言って着席させる。 例"No. 35 sit down."	○説明はしないで子どもに気づかせる。 ○20 以上の言い方をここで導入し、数字の言い方に気づかせる。 ○20 までの数字で計算問題の英語の言い方を練習する。 ○計算問題を通して、数字の言い方に気づかせる	○応用しながら数字が言える。
<b>活動</b> 10分	○計算問題をやってみよう I MOVIE 3 ○計算問題をやってみよう II (教師と練習) 下記のような計算式(板書カード)を全員に英語で言わせて練習する。 20+8=28 20+4=24 30+3=33 30+7=37 50+5=55 60+8=68 80+6=86 90+9=99	○計算問題を通して、数字の言い方の規則性に気づかせる ○男女で青とピンクに分けると良い。最初に出会ったペアで数字をたす。 ○教師は数字カードを1枚任意に選び、発表する。同じ数字のペアが起立して、みんなで拍手をする。 ○持ちカードを変えて行う。	○応用しながら数字が言える。
<b>活動</b> 10分	○計算問題をやってみよう II 『選ばれた数字を持つているのはどのペア?』 ① 1~9 (ピンクカード) 10,20,30, ~90(青カード)を一人一枚用意し、子どもに配る。 ② 子どもは異なる色のカードを持っている子どもとペアになりお互いの数字を足して、英語で言う。(一組ずつ発表させる) ③ 教師は数字カードを1枚任意に選び、発表する。同じ数字のペアが起立して、みんなで拍手をする。		
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 5 すしは好きですか? (1/3)			
単元の目標	好きな食べ物や教科等を尋ね合う活動を通して、外来語と英語の音声上の類似点や相違点に気がつき、好き嫌いを伝え合うための表現の技能を身に付け、積極的に友達に好きなものを伝えようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 I like ~, I don't like ~, spaghetti, pizza, curry, omelet, chicken, steak		
準備	デジタル教材、2年のすしカード、Hi, Friends 1		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字		
<b>導入</b> 10分	○2年で学習したすしの絵を出し This is tuna. This is egg. 等と復習し、I like tuna. 等と言った後にALT に Which sushi do you like? と聞く。 ○Who likes sushi? と聞いて、手を挙げた子どもに Which sushi do you like? と聞いていく。最初は I like ~ が言えるように助ける。できるだけのくさんの子どもにも聞く。クラスで一番人気のあるsushi を決めても良い。(すしは2年で既出だが、学習していないものは日本語でOK)	○sushi のほかにも、ボケモン等子どもが興味のあることについて、尋ねてもよい。 ○I like ~ が自然と練習できるようにする。	
<b>活動</b> 10分	○H.F p17 Let's Listen 2 好む嫌いの言い方を聞く 寿司の絵を見ながら教師は『I like tuna, but I don't like salmon.』等と言いつつ、How about you? と子どもに聞いていく。(すしネタで学習していない物は日本語で言っても良い) ○すしの嫌いな子どもには、他の食べ物カードを見せ ( spaghetti, pizza, curry, omelet, chicken, steak, fish の発音を担任またはALT が確認する) I don't like sushi, but I like pizza. 等、好き嫌いを言わせる。 ○食べ物の好き嫌いを言おう 日本の料理は日本語でもよい。 『I like sushi, but I don't like pizza.』	○子どもが言えるように英語を助ける。 ○I like ~, I don't like ~ が自然と練習できるように誘導する。 ○これは以外の食べ物名前は日本語でもよい。(酢の物、煮物、豆腐、納豆等) 子どもの本音の好き嫌いを言わせるようにする。	○自分の意思を表すのに自然と練習できる。
<b>活動</b> 12分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		○食べ物の名前が言える。

3年 Lesson 5 すしは好きですか? (2/3)			
単元の目標	好きな食べ物や教科等を尋ね合う活動を通して、外来語と英語の音声上の類似点や相違点に気づき、好き嫌いを伝え合うための表現の技能を身に付け、積極的に友達に好きなものを伝えようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な言葉・表現	What do you like? Do you like ~? Yes, I do. No, I don't. 既習の単語	
準備	デジタル教材、えいごリアン、できれば食べ物絵カード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字		
導入 10分	○えいごリアン視聴 2-⑦-1 ジャニカのお茶会		◇興味・関心
活動 10分	○教師が I like pizza. などと言ってから、5~6人の子どもに What do you like? と聞く。子どもは今まで学習した食べ物の中から一つ選んで、I like curry. など答える。次に最初に質問した子どもにもう一度 Do you like curry? と聞いて確かめる。子どもは Yes, I do. No, I don't. で答える。何人かに聞くうちに、Help me. と言って他の子どもにも手伝って質問するよう促す。また新しい子どもも5, 6人に同じことをしながら Do you like ~? を自然と練習させる。	○Do you like ~? が自然に練習できるようにするため、先生のデモンストラーションは、ゆつくりはっきり、わかるようにする。	◇自分とお友達とのコミュニケーションを楽しんでいる。
活動 12分	○先生の好きなもの予想食べ物、その他の語彙(1, 2年で既出)を復習しながら使って、先生の好きなものを予想した後で、みんなが質問し、予想が合っていたか、間違っていたか確認する。 All children: Do you like pizza? Teacher: Yes, I do.	○シートを用意し、○×をつけておく。	◇全員で Do you like ~? が言える。
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 5 すしは好きですか? (3/3)			
単元の目標	好きな食べ物や教科等を尋ね合う活動を通して、外来語と英語の音声上の類似点や相違点に気づき、好き嫌いを伝え合うための表現の技能を身に付け、積極的に友達に好きなものを伝えようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な言葉・表現	math, English, Japanese, PE, music, science, social studies Do you like ~? Yes, I do. No, I don't.	
準備	デジタル教材、えいごリアン、ビンゴシート、教科絵カード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字		
導入 10分	○えいごリアン視聴 2-⑦-3 好きなもののゲーム		
活動 10分	○教科の名前を導入 Japanese, English, music, PE, science, social studies を連想クイズで導入。 ①絵カードを見せながら、Do you like PE? など次々と質問しながら自然と教科の名前を聞かせることで導入する。 ②次に Missing Game 等をして、言わせる練習を備つても良い。		
活動 12分	○好きですか? インタビュー活動 既習の単語をビンゴ形式(9個)にしてインタビュー活動を行う。 子どもが今まで学習した英語で、興味あるものを自由に話題として取り上げる。 Do you like English? Yes, I do. / No, I don't.	○簡単な絵、またははがたカキを書いて、ビンゴにする。	
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		



3年 Lesson 6 どんなマグカップが好きですか? (1/4)			
単元の目標	友達の好きなものを聞きながらどのマグカップのことを指しているか当てる等の活動を通して、友達の興味・関心や好みは様々であることに気付き、既習の表現を場面や文脈に合わせて選んで使いつながら、積極的に友達に好きな物を伝えようとする。		
評価の観点	本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現	評価のポイント
複数の種類があるものの中から好きなものを質問し答える。	What fruit do you like? (subject, animal, sport) I like apples.		
準備	デジタル教材、		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字		
<b>導入</b> 10分	○What TV program do you like?と教師が一人ずつ聞いていく。子どもはI like ~. 等と答える。 ○中では何が好きですか? たくさん種類があるものを選んで、どんなのが好きか聞いてみよう。今まで学習したものの中から子どもにも選ばせ、(最初は教師の後に置いて言いつながら)、子ども全員でHRT,ALTに質問する。 What fruit do you like? (subject, animal, sport) I like apples.	○What ~do you like?を自然に聞かせる。 ○答えはI like ~.と自然に練習できる。 ○What ~ do you like?が自然に言えるように練習する。 *サイコロに絵を描いて選んでも良い。 ○I like ~.の数を数えられる単語は複数形になる。説明はしない。子どもは正しい英語を言い続けることが大切。*複数形のカードを見せで行う。 ○どんなことを聞けるか ○誰に何を聞くかを考える。	◇興味・関心
<b>活動</b> 10分	○友達に質問 友達一人につき、聞きたいことを3~4種類選んで、ペアでお互いに聞きあい、結果をメモする。 ○振り返り fruit, subject, animal, sport ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		
<b>活動</b> 12分			◇What ~ do you like? I like ~.が言える。
<b>振り返り</b> 3分			

3年 Lesson 6 どんなマグカップが好きですか? (2/4)			
単元の目標	友達の好きなものを聞きながらどのマグカップのことを指しているか当てる等の活動を通して、友達の興味・関心や好みは様々であることに気付き、既習の表現を場面や文脈に合わせて選んで使いつながら、積極的に友達に好きな物を伝えようとする。		
評価の観点	本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現	評価のポイント
複数の種類があるものの中から好きなものを質問し答えることと、お互いの好みを複数のものの中から選び出す練習をする。	What fruit do you like? (subject, animal, sport) I like apples.		
準備	デジタル教材、紙コップ児童分、絵柄シート、のりとはさみ (各自)、Hi, Friends 1		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字		◇どんな表現を運ぶかを文脈に合わせて工夫できる。
<b>導入</b> 10分	○Hi, Friends! p.18,19を参照 この中に先生が好きなTシャツがあります。ヒントを聞いて当てるためには、どのように質問したらいいでしょう。教師の英語 Guess my favorite T-shirt. 子どもからWhat fruit do you like? What animal do you like? 等の文を引き出す。いろいろ質問させて、最終的に当てる。ALTや2,3人の子どもの好きなT-shirtを選んで他の子どもが当てる。 (例) What fruit do you like? I like apples. What sport do you like? I like soccer. ○好みのT-shirtを、ペア、またはグループで当てる練習をする。	○What ~ do you like?を目的に合わせて引き出す。fruit, animalの語句がわからなければその都度教える。	
<b>活動</b> 10分	○さらに筆箱の絵についても同じことを行う。最初に教師がモデルを行い、子どもがグループで練習する。		◇グループで協力して、英語を練習している。
<b>活動</b> 12分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		◇グループで協力して、英語を練習している。
<b>振り返り</b> 3分			○今回は、マグカップ作りを行うので人数分の紙コップを購入して用意するのが望ましいが、できない場合はマグカップの絵を使う。

3年 Lesson 6 どんなマグカップが好きですか? (3/4)			
単元の目標	友達の好きなものを聞きながらどのマグカップのことを指しているか当てる等の活動を通して、友達の興味・関心や好みは様々であることに気付き、既習の表現を場面や文脈に合わせて選んで使いつながら、積極的に友達に好きな物を伝えようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現		
複数の種類があるものの中から好きなものを質問し答える練習をしながら、活動に使うマグカップをデザインする。	What fruit do you like? (subject, animal, sport) I like apples.		
準備	デジタル教材、紙コップ児童分、またはマグカップの絵、絵柄シート、のりとはさみ(各自)、Hi, Friends 1		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字		
<b>活動</b> 27分	○マグカップを作ろう 教師はマグカップづくりを行うことを話し、以下のことを行うように段取りをする。 ①グループ(4人がのぞましい)でマグカップに貼る絵を切り取り、それぞれの子どもが絵を1種類選んで担当してもつ。 ②順番を決め、1番になった子どもにも、それぞれ絵の担当の子どもが What fruit do you like? 等と質問し、聞かれた子供は I like melons. 等と答え、melon のカードをもらう。それぞれ絵の担当が同じように質問し、絵をわたす。同じことをすべての子どもが行い、絵を手に入れる。 ③上記のように手に入れた絵を、自分のマグカップに貼る。 ○次回、誰のマグカップが当てるゲームを行うことを伝えて、集める。(裏に氏名を書かせて集める)	○マグカップにみだてた紙コップを準備するか、マグカップの絵を使う。 ○最初に英語でどのような練習をするか、モデルを示す。切り取って準備が出来たグループから見回り、さいスする。(準備に入る時間がグループで異なるので、効率よく行う)	○協力して英語を練習しながら、マグカップづくりを行っている。
<b>活動</b> 5分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 6 どんなマグカップが好きですか? (4/4)			
単元の目標	友達の好きなものを聞きながらどのマグカップのことを指しているか当てる等の活動を通して、友達の興味・関心や好みは様々であることに気付き、既習の表現を場面や文脈に合わせて選んで使いつながら、積極的に友達に好きな物を伝えようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現		
英語で質問をすることによって、友達がデザインしたマグカップをあてることができる。	What fruit do you like? (subject, animal, sport) I like apples.		
準備	デジタル教材、算箱の絵、子どもが作成したマグカップ		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字		
<b>復習</b> 7分	○ゲームのやり方を、実演しながら説明する。教師のマグカップを当てるために、What fruit do you like? What animal do you like? 等の質問をさせる。 ○誰のマグカップか当てよう。 ①全体を4グループに分け、グループごとにマグカップをまとめて置いて置く。 ②2グループがペアになり、質問するほうを決める。(ペアが2つになり、同時に進行する) ③質問する側はそれぞれ、相手グループから一人を選んで What fruit do you like? What sport do you like? 等の英語を使って相手のマグカップを見つめる。時間があれば、相手を変える。 *以下のようなお話を行ってよい。 C1: Is this your cup? C2: Yes (No). ④グループの役割を後退する。	○どんな質問をしたらよいかを子どもに考えさせる。(前回の復習) ○質問や答えの言い方を、自然と復習させる。 ○1グループの人数が多すぎると、当てるのが難しいので、10人以下とする。 ○マグカップづくりの時のグループがなるべく同じにならないように配慮する。 ○Lesson 8 につながる表現。子どもたちの負担になるようなら行わずともよい。行う場合は、教師がモデルを何回も見せ、教師と子どもで練習を行う。	
<b>活動</b> 10分	○だれの mug か当てよう グループのペアを変えて行う。		
<b>活動</b> 15分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 7 ヒントをもとに考えよう (1/3)		
単元の目標	ヒントを聞いて対象物を言い当てる活動を通して、近くのものを目指す場合と遠くのものを目指す場合の表現の違いに気付かせ、相手に理解してもらえらるようなヒントを表すための表現の技能を身に付け、対象物について積極的に伝え合おうとする。	評価のポイント (◇)
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 What's this in English? clock, microscope, blackboard, desk, mirror, magnet, chair, pencil, blanket	教師の支援 (☆) 留意点 (○)
準備	デジタル教材、えいごリアン、絵カード、はさみ (各児童)	学習過程
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字	
<b>導入</b> 10分	○えいごリアンを視聴 2-⑤-1「この絵は何だ」 ○MOVIE (Part 1) MOVIE: What's this? Guess what? C: えー、なんだろう? MOVIE: It's a pencil. ○MOVIE (Part 2) Let's chant. チャンツで練習 What's this? What's this? What's this in English? clock, microscope, blackboard, desk, mirror, magnet ○“What's this?”(指がつくほど近くにある時) “What's that?”(離れているか、遠くにある時)の違いを説明する。 ○ビンゴゲーム 9枚つづりの絵(clock, microscope, blackboard, desk, mirror, magnet, chair, pencil, blanket)を各自に配り、言い方を確認する。次に9枚を切り分けさせ、マスに並べてビンゴをする。自分先生がフラッシュカードをランダムに引き、自分分はカードが見えないようにする。子ども達に教えてもらうために、“What's this?”と全員に聞く。 ②1回目にビンゴした子達が、1回目での先生がやった役割をやる。	◇答えを見出すために真剣に耳を傾けている。 ◇物のある一部の拡大図やモザイク加工した写真などを使ったクイズ ○this にストレスを置く。 ○教師が動いて実演し、違いに気付かせる。 ○台紙を配布 ○先生は離れた所から“What's that?”と全員に聞く。
<b>活動</b> 10分		◇近頃の物と遠くの物を聞くときの言い方の違いに気づく。
<b>活動</b> 12分		
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H: (A): You're welcome. Have a nice day.	

3年 Lesson 7 ヒントをもとに考えよう (2/3)		
単元の目標	ヒントを聞いて対象物を言い当てる活動を通して、近くのものを目指す場合と遠くのものを目指す場合の表現の違いに気付かせ、相手に理解してもらえらるようなヒントを表すための表現の技能を身に付け、対象物について積極的に伝え合おうとする。	評価のポイント (◇)
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 What's this? What's that? It's a(n) ~. clock, microscope, ice pack, blanket, blackboard, chair, desk, mirror, magnet	教師の支援 (☆) 留意点 (○)
準備	デジタル教材、絵カード、既習の単語の単語の模型、文房具等)、Hi Friends 1	学習過程
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you,) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字	○流れは欄外(1)参照 ○見た目と使い道が違うものを選んでおく(例)本の形をした箱等。 *良い素材がない時は袋の中に品物を入れ、形を見せて想像させて質問する。 ○thisの時、必ず近くで指を差して言うようにする。 ○ハサミ、メガネ等は複数形で、質問する時“What are these(those)?となるので、扱わないほうがいい。 ○thisとthatの違いは教師が使っているのを耳にし、気づくようにする ○欄外参照(2)
<b>導入</b> 10分	○新出語句の絵カードを使って前回の復習 “What's this? → “It's a...” ○これ何だろう *Hi, Friends 1 p.30 を使っても良い 教師が、何かをわからぬという設定で見せ、 <u>What's this?</u> と自問し、子どもにも考えさせる(新出語句を加えられればなお良い)。少しずつ、自然に、子どもにも“What's this?”と不思議がる(=疑問を口に出す)ように促す。 徐々に教師は会話の輪から抜け、答えをわかっている立場になる。*ここで距離ができ、教師の発言に“What's that?”が加わっていく。子どもたちが答えがわからない時教師はヒントを出す(Three-Hint-Quizの導入の役割)。 ○MOVIE “What's this?” This and That” ○Three-Hint-Quiz T: Yellow, monkey, fruit. Guess what? C: It's a banana. ○次回のクイズ大会の出し物を考える。 5~6グループに分かれ、それぞれ問題を考える。答えとなる物の絵を描き、ヒント(3つまで)を考える。 *絵ではなく写真か実物でもよい。 ○振り返り	◇興味・関心
<b>活動</b> 10分		
<b>活動</b> 12分		
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H(A): You're welcome. Have a nice day.	

3年 Lesson 7 ヒントをもとに考えよう(3/3)			
単元の目標	ヒントを聞いて対象物を言い当てる活動を通して、近くのものを目指す場合と遠くのものを目指す場合の表現の違いに気づき、相手に理解してもらえよう。対象物について積極的に伝え合おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現		
対象物の名前を質問して、答えることができる。 ヒントを聞いて、物の名前を言うことができる。 ヒントを英語で考えることができる。	What's this? It's a(n) ~. 既習の単語		
準備	デジタル教材、袋、絵、子どもが準備したもの		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字		
<b>導入</b> 10分	○スリーヒントクイズ大会のデモンストラレーション ①絵(フラッシュカードでも可)を教役提示し、教師は自分には見えない状態で子どもに選ばせる。 ②教師はわからないので、“What's this?”と言う。 ③子どもたちは答えがわかっている状態で、“It's red.”等とヒントを言う。 ④教師が “It's a strawberry.”等と答えを言い、合っていれば、子どもは “Yes.” と言う。 ⑤違っていれば、子どもは “No.” と言い、さらにヒント “It's a vegetable.” 等と言う。	○ “What's this?” は出題者のセリフではなく、解答者のセリフであることを注意する。 ○ 子どもにも、教師の役割をさせるとよい。	◇ 中間に助けを求めようという態度が見える。
<b>活動</b> 22分	○スリーヒントクイズ大会 ① グループずつ出題する。他のグループは解答者。 ② 出題グループは出題対象の絵を封筒に入れ、ヒントを3つ言った後で、“What's this ?”と回答者に聞かないように注意しておく。 ③ 回答者は 手を上げ “It's a(n) ...” で答える。 * 出題グループは、当たらないければ “Sorry, no.” 当たっていたら “Yes!” などと言う。 * 答えが最後まで当たらなかったときは、回答者が “What's that ?” と出題者に尋ねるよう教師が促す。		◇ 相手に理解してもらえようように発表しようとしている。
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 8 落とし物が誰のものか確かめよう (1/3)			
単元の目標	文房具等の持ち主を探す活動を通して、日本語と英語における文房具の言い表し方の違いに気づき、所有者かどうかが尋ねたり持ち主を示したりするための表現の技能を身に付け、文房具等の持ち主を積極的に伝え合おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現		
文房具等の名前を聞いて、言うことができる。 Yes. No.	pencil, eraser, ruler, notebook, glue is this your eraser?		
準備	デジタル教材		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字		
<b>導入</b> 10分	○文房具の名前知っていますか “Show me your pencil, please?” 「あなたの鉛筆を見せてください」等と言って子どもにも文房具を持って挙げてもらう。 *他に eraser, ruler, notebook, glue を同じように行う。(文房具のように実物がある場合は絵を使わずに実物を使ったほうが、対象物と英語の距離がより近くなるのでよい)	○全員が理解できなければ、担任が示す。最初に示してくれた子どもにも、“Thank you”等と言うと他の子どもも真似をする。 ○ここでは聞く練習だが、文房具の英語を繰り返させよう。 ○ “Thank you. Put it down. (下ろす真似をする) Next, Show me your ~, please.”等と言うとよい。 ○ペアになって間に消しゴムを1つ置き、決めてある消しゴムを取る。 ○教師が一人のときは、子どもとモデルを行う。 ○初めは、一人ひとり教師の後を繰り返させて練習する。	◇ 興味・関心
<b>活動</b> 10分	○文房具の名前を覚えよう ① key word game * キーワード以外をリピートする ② missing game その他をして練習する ○ 文房具リレー ① 教師二人でモデルを行う。一人が、他方の消しゴムをとり [is this your eraser?] と聞く。他方は Yes. と答える。最前列の子どもが2列目の子どもの消しゴムを持って同じように行う。次に2列目の子どもが3列目に同じように行う。 ○ 持ち主を見つければよい		
<b>活動</b> 12分	○持ち主を見つければよい 子どもはグループになり、お互いの文房具を教点中央に出し、子どもの順番を決め、上記の英語のやりとりを行い、持ち主をさがす。		
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson8 落とし物が誰のものか確かめよう (2/3)			
単元の目標	文房具等の持ち主を探す活動を通して、日本語と英語における文房具の言い表し方の違いに気づき、所有者かどうかが尋ねたり持ち主を示したりするための表現の技能を身に付け、文房具等の持ち主を積極的に伝え合おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 Excuse me? Is this your eraser? Yes. It's mine. Thank you. You're welcome. pencil, eraser, ruler, notebook, glue		
準備	デジタル教材		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字	○MOVIE を見ながら表現を練習する。	◇新しい表現に慣れようとしている。
導入 10分	○先週の復習を行う ○MOVIE を視聴 A: Excuse me? Is this your eraser? B: Yes. It's mine. Thank you. A: You're welcome.	○MOVIE を見ながら表現を練習する。	◇新しい表現に慣れようとしている。
活動 10分	○教師は子どもの持ち物を [Is this your pencil case?]と聞き、[Yes. It's mine.]と子どもが言えるような状況を作りだし、何回か繰り返し自然と練習させる。時々No.も練習する。 ○文房具リレー②	○Yes. It's mine. と子どもが言うような状況を作り出し、自然と練習させる。 ○速さはかりに気を取られ、雑になつていないか確認する。 ○使用する文房具は、消しゴム、筆箱、のりなどがよ全上避けたほうがよい。 ○渡す文房具の数は適当に制限する	◇積極的に関わろうとしている。
活動 12分	①最前列の子どもの2列目の子どもの筆箱を持って、[Is this your pencil case?]と聞き、2列目の子どもは[Yes. It's mine.]答える。最後尾まで同じように行う。 ○持ち主をみつけよう② ①グループを2つにわけ、何点かの持ち物をあいてグループにわたす。 ②グループの順番を決め、相手グループの持ち物の持ち主を質問して探す。 ○振り返り		
振り返り 3分	○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 8 落とし物が誰のものか確かめよう (3/3)			
単元の目標	文房具等の持ち主を探す活動を通して、日本語と英語における文房具の言い表し方の違いに気づき、所有者かどうかが尋ねたり持ち主を示したりするための表現の技能を身に付け、文房具等の持ち主を積極的に伝え合おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 Is this your eraser? Yes. It's my eraser. Thank you. You're welcome. No. It's ~'s.		
準備	デジタル教材		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と文字	○誰のものなのか、わかっている場合の言い方で、○○'sと言う表現を導入する。	
導入 10分	○MOVIE を見ながら新しい表現の確認をする。 A: Excuse me. Is this your pencil case? B: No. It's Drika's. MOVIE を見ながら練習する。		
活動 7分	○教師は子どもの持ち物を [Is this your eraser?]等と聞き、[No. It's Taro's.]等と子どもが言う状況を作りだし、何回か繰り返し自然と練習させる。時々Yes. It's mine. と言えるようにも練習する。 ○持ち主をみつけよう③	○No. It's ~'s. と子どもが言うような状況を作り出し、自然と練習させる。 ○持ち主が比較的わかりやすい、筆箱がよいかもしれない。	◇覚えた英語を活用しながらやり取りをしようとしている。
活動 15分	①クラスを半分A, Bまたは(A,B,C,D)に分ける。 ②グループA全員の筆箱(他のものでもよい)集め、グループB全員に1個ずつ渡す。 ③BはAの子に "Excuse me? Is this your eraser?" と聞きながら持ち主を探す。 ④役割を交代して行う。 ○振り返り		
振り返り 3分	○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 9 クリスマスのプレゼントでほしいものは何ですか? (1/3)			
単元の目標	クリスマスプレゼントとして欲しいものを探ね合う活動を通して、そのジャンルの中でさらに具体的に尋ねるための表現があることを知り、欲しいものを探ね合うための表現の技能を身に付け、積極的に友達に欲しいものを伝えようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 What do you want for Christmas? I want a video game / comic book / dress / toy / skis / skates / snowboard		
準備	絵本、デジタル教材、絵カード		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Dear Santa を読む。	○本読みに挑戦 いろいろ絵本、ライムを取り入れる。	
導入 7分	○MOVIE チャンツで復習 What do you want for Christmas? I want a video game. 等のやり取りを見せる	○ここでは、ゲームの種類や漫画のタイトルなど聞かず、大きな分け方で言う。 video game, comic book, dress, toy ★百円ショップのサンタクロースの帽子をかぶると良い。 ○質問の文は、教師のINPUTで自然に覚える。 ○子どもへの答えは、教師の支援が必要になる。	◇興味・関心 ◇質問と答えの仕方の要領に慣れる。
活動 5分	ピクチャカードを見ながら欲しい物のアイテムを言ってみる。教師“What do you want for Christmas?” 子ども“I want a video game.”	○サンタからのプレゼント 教師がサンタクロースになり、(3人ほど良い) “What do you want for Christmas?” と自由に子どもに質問して歩き、子どもは“I want a video game.”等と答え、教師はカードを渡す。	
活動 7分	○子供同士でカード交換 A 子どもはプレゼントカードを4枚持ち歩いて、出会った人とじゃんけんし、負けた人が“What do you want for Christmas?”と尋ね、相手が“I want a video game.”と言ったら、カードを手渡す。これをほかの人と繰り返し、3枚同じカードが集まったら終了。	○日本語でやり取りしないよう、注意が必要。 ○相手がそのカードを持っていない場合、“Sorry”と告げる。	◇積極的に関わろうとしている。
振り返り 3分	○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 9 クリスマスのプレゼントでほしいものは何ですか? (2/3)			
単元の目標	クリスマスプレゼントとして欲しいものを探ね合う活動を通して、そのジャンルの中でさらに具体的に尋ねるための表現があることを知り、欲しいものを探ね合うための表現の技能を身に付け、積極的に友達に欲しいものを伝えようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 “What do you want for Christmas?” “I want a comic book. Which one do you want?” video game, comic book, dress, toy		
準備	絵本、デジタル教材、		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
Warm up 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Dear Santa を読む。		
導入 10分	○MOVIE “What do you want for Christmas?” “I want a comic book.” video game, dress, toy “Which one do you want?” “I want ‘One Piece’”.	○リズムミカルに言った後、自然な言い方で言う。 ○詳細を答えてもらう。 ○dress は pink one 等と伝える。 ○最初は全体、次に少人数のグループ、最後に個人の練習へと段階的に行う。 ○アフレコされる教師側は、ジェスチャー、表情などを考えて行う。そうすることで、状況を子どもにも理解させながら行うことができる。	
練習 10分	○二人の教師でモデルを見せる A: “What do you want for Christmas?” B: “I want a comic book.”(絵カードで指示) A: Which one do you want? B: I want “One Piece”. (口頭で) ①全体を2グループに分け教師のアフレコをさせる。 *下線の部分は絵を見せながら行う。 ②小グループを2つ選び教師のアフレコをさせる。 ③ペアをえらびアフレコさせる		
活動 12分	○子どもを2重の円にし、内と外でペアになる A: “What do you want for Christmas?” B: “I want a comic book.” A: Which one do you want? B: I want “One Piece”. 外側がA 内側がBを言う。先生の合図で、外側が1歩まんに進みペアを変える。何回かペアを変え練習		
振り返り 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H: (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 9 クリスマスのプレゼントでほしいものは何ですか? (3/3)			
単元の目標	クリスマスプレゼントとして欲しいものを探ね合う活動を通して、そのジャンルの中でさらに具体的に尋ねるための表現があることを知り、欲しいものを探ね合うための表現の技能を身に付け、積極的に友達に欲しいものを伝えようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 何がほしいか、さらにどんな種類がほしいかを質問し答えることができる。 “What do you want for Christmas?” “I want a comic book. Which one do you want?”		
準備	絵本、デジタル教材、アルファベットカード Hi, Friends 1		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Dear Santa を読む。	○答えの部分は口慣らしのため、それぞれ異なる答えが出てよい。	
<b>導入</b> 5分	○MOVIE 表現の確認 T: “What do you want for Christmas?” C: “I want a comic book.” T: “Which one do you want?” C: “I want, ‘One Piece’.”	○ゲーム、おもちゃ等の具体的な名前は日本語でもよい。	◇相手に関心をもって耳を傾ける姿勢がみられる。(アイコンタクト)
<b>活動</b> 12分	○インタビュー (ワークシートに記入) ①最初に自分の欲しいものに○をつけ、その中で何が欲しいか書いておく。 ②グループ以外の友達と交流しながら質問し、記録する。自分のほしいものと比較する。	○子どもから、教師に質問させ、「こんなものがあったらいいな」というものを教師は答え、例を示す。 ○* ドラえもんに出てきたような道具をチェックし、Ex. (スモールの) light, (どこでも) door, (晴記) bread など。	◇欲しいもの言うために、いろいろな工夫しようとしている。
<b>活動</b> 10分	○こんなものあったらいいな 基本を元に、自由な会話をグループ内で行う。 最初に教師がモデルを見せる C: “What do you want for Christmas?” * T: “I want a door.” * C: “Which one do you want?” T: “I want ‘dokodemo door’.” * を省いて答えても良い。 グループで聞きあって、みんなが欲しいと思うたもので面白いものを最後に発表する。		
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 10 友達を誘おう (1/3)			
単元の目標	友達を遊びに誘う場面をもとにしたゲームやスキットを行う活動を通して、様々な遊びを表す英語を知り、勧誘したり承諾したり断ったりするための表現の技能を身に付け、積極的に友達を遊びに誘おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 友達を遊びに誘ったり、誘われて了承したり断つたり。 Let's ~, Sure. (OK. Sounds good.) Nah... sorry. play tag (catch, baseball, tennis, soccer, dodge ball.)		
準備	デジタル教材、絵カード、		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Let's Play を読む。	○教師の Let's ~ の英語を聞いて自然に覚える。答え方を自然に言えるようにする。 ○絵カードを見ながら表現を自然に覚える。	
<b>導入</b> 10分	○MOVIE ビデオを観終わった後に、教師は、ALT または、子どもの一人に [Let's play baseball] 等と言い、いろいろな子どもにも声をかける。答え方 [Sure] / [Nah...sorry] もその都度教える。Let's ~ を使って何種類か練習する。(絵カードを見せながら行う) * 断る時は相手の気持ちを害さないように、ためらってから答える。これが、コミュニケーションの重要なポイントである事を理解させる	○教師の Let's ~ の英語を聞いて自然に覚える。答え方を自然に言えるようにする。 ○絵カードを見ながら表現を自然に覚える。	
<b>活動</b> 10分	○友達を誘おう I 遊んだり、スポーツをしたりしている絵の中で、自分も遊んでいると仮定して友達を誘う。 ① クラスを2グループに分け、いっせいに言う。 ① A: [Let's play tag] B: [Sure] / [Nah...sorry] 等と練習する。	○表現を言えるように助ける。 ○時々個人名を言うて質問しても良い。 ○答えはバラバラでも良い	○表現を言えるように助ける。 ○時々個人名を言うて質問しても良い。 ○答えはバラバラでも良い
<b>活動</b> 12分	○友達を誘おう II ①クラスをグループA,Bに分ける。 ②子どもは絵カードを一人1枚ずつもちょう。 ③AはBの絵カードから相手を見つけて [Let's ~] (絵カードと同じ内容)と誘う。 ④Bは同じ絵カードだと [Sure] 誘っていたら [Sorry] と言う。 ⑤時間内で、たくさん相手を見つけてよう。 ⑥A,B 役割を変えて行う。	○友達を誘おう I 遊んだり、スポーツをしたりしている絵の中で、自分も遊んでいると仮定して友達を誘う。 ① クラスを2グループに分け、いっせいに言う。 ① A: [Let's play tag] B: [Sure] / [Nah...sorry] 等と練習する。	◇ Let's ~ を使っているか確認する。 ○「もっている絵カードの内容のことを今、したいと思ったださい。」と状況を確認する。
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 10 友達を誘おう (2/3)			
単元の目標	友達を遊びに誘う場面をもとにしたゲームやスキットを行う活動を通して、様々な遊びを表す英語を知り、勧誘したり承諾したり断ったりするための表現の技能を身に付け、積極的に友達を遊びに誘おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 Let's ~. Sure. Sorry. play tag (catch, baseball, tennis, soccer, dodge ball) have a snowman		
準備	絵本、デジタル教材、絵カード、メモ用紙		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Let's Play を読む。		
<b>導入</b> 10分	○復習 教師は子ども一人を選んで Let's play ~と声をかけ、次に子ども代表を選んで Let's play ~と声をかけるように促す。 A: [Let's play tag.] B: [Sure.] / [Sorry] 等 ○どの子を誘う? ①2チームに分かれる。 ②2チームが話し合っそれぞれ遊びを選ぶ。 ③各チームは、4~5人ずつ他チームの遊びをしたいと思っっている子どもを選んでおく(秘密に)。 ④それぞれのチームは自分側の遊びをしたい子どもを推測し、下記のように誘う。 A (all): [Hi. Ken.] B: [Hi.] A (all): [Let's play tag.] B: [OK (Sure) / Sorry] 等の英語のやり取りをする。 ⑤OK. と言っ子どもは相手チームに移動する。 ⑥移動した子どもは人数が多いチームの勝利。	○3,4種類の表現 (play baseball(tennis), soccer, dodge ball) を使っって復習する。 ○ルール説明のPWPあり。	◇活動の中で自然に Let's ~.を言えるようになっっている。
<b>活動</b> 10分	○スキット製作 Let's ~. Sure. Sorry を中心に既習の表現を使っってスキットを作り、次回発表する。 *既習の表現を上手く取り入れるようにする。 (Hi, How are you? What's this? What ~ do you like? Do you like? etc.) ○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生. Thank you, ~先生. H: (A): You're welcome. Have a nice day.	○グループ全員に役割が当たるとよう配慮する。	
<b>活動</b> 12分			
<b>振り返り</b> 3分			

3年 Lesson 10 友達を誘おう (3/3)			
単元の目標	友達を遊びに誘う場面をもとにしたゲームやスキットを行う活動を通して、様々な遊びを表す英語を知り、勧誘したり承諾したり断ったりするための表現の技能を身に付け、積極的に友達を遊びに誘おうとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 Let's ~. Sure.(OK, Sounds good.) Nah...,sorry. play tag(catch, baseball, tennis, soccer, dodge ball) have a snowball fight, make a snowman		
準備	絵本、デジタル教材,		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Let's Play を読む。		
<b>導入</b> 10分	○表現の確認とスキット練習 A: Hi, ~. B: Hi. A: Let's play ~. B: Sure.(OK, Sounds good / Nah....sorry. ○スキット発表 前時にグループごとに作っったスキットを発表する。 例 A: Hi, B,C, D: Hi, B: Do you like soccer? A: No, I don't. C: How about baseball? A: Yes, I like baseball D: Let's play baseball. A: Sure. ○スキット発表 後半	○それぞれスキットの内容が異なるが、最初は、同じ表現で口慣らしをする。 ○真剣に発表が聞けるような雰囲気をつくる。 ○それぞれのスキットの感想を書かせても良い。	◇自分の役割に責任もって発表し、困っっている仲間を支援しようとする態度。
<b>活動</b> 15分			
<b>活動</b> 7分			
<b>振り返り</b> 3分			



3年 Lesson 11 自分のことを伝えよう (1/3)			
単元の目標	英語による自己紹介を聞いた後、自己紹介をしたりする活動を通して、相手に理解してもらえるような表現を用いることや、伝える際の表情、態度等の大切さに気付く、自分のことについて伝えるための表現の技能を身に付け、積極的に英語で伝えようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 他の人の自己紹介を聞いて理解する。相手によって Hi, I'm ~. I'm 10 years old. I'm from Japan. I live in ~. I have ~. I like ~.		
準備	絵本、デジタル教材		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Me Myself を読む。		
<b>導入</b> 10分	○MOVIE (7人の自己紹介) いろいろな人の自己紹介ビデオを見て、英語を聞き取り、表現を学ぶ。表情、態度等も学ぶ。	○適宜、ビデオを止めて、確認をしながら見てもよい。 ○内容を問う。	◇興味・関心 ◇一つひとつの表現の違いに気づく。
<b>活動</b> 10分	○Movieの内容を確認 何人かを取り上げ、子どもにどんな内容だったかを質問する。 What's his(her) name? Where is he(he/she) from? Where does he(he/she) live? How old is he(he/she)? What does he(he/she) have? / Does he(he/she) have a ~? What does he(he/she) like? / Does he(he/she) like ~?	○黒板に英文を書かない。 ○最初は、「~さんになつたつもりで、言ってみよう」と、(スポーツ選手やタレントの写真があると臨場感が出る)全員で一緒に同じことを言った後で、それぞれ自分のことについて言う練習を行う。 ○表現の違いなどをアドバイスする。	
<b>活動</b> 12分	○練習 それぞれの表現を担任、ALTの後について練習する。 Hi, I'm ~. I'm ~(years old). I'm from ~. I live in ~. I have ~. I like ~.○		
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H (A): You're welcome. Have a nice day.		

3年 Lesson 11 自分のことを伝えよう (2/3)			
単元の目標	英語による自己紹介を聞いた後、自己紹介をしたりする活動を通して、相手に理解してもらえるような表現を用いることや、伝える際の表情、態度等の大切さに気付く、自分のことについて伝えるための表現の技能を身に付け、積極的に英語で伝えようとする。		
本時の目標	本時で扱う主な語彙・表現 他の人の自己紹介を聞いて理解する。相手によって Hi, I'm ~. I'm ~(years old). I'm from ~. I live in ~. I have ~. I like ~. Thank you.		
準備	絵本、デジタル教材		
学習過程	活動内容 (○)	教師の支援 (☆) 留意点 (○)	評価のポイント (◇)
<b>Warm up</b> 10分	○T: Hi, class! C: Hi, ~先生! T: How're you doing? C: Good, (thank you.) and you? T: Pretty well, thank you. ○What's the weather like? ○What day of the week is it today? ○What month is it? ○音と数字 ○Me Myself を読む。		
<b>導入</b> 10分	○MOVIE もう一度自己紹介ビデオを見る。 担任、ALT等がモデルスビースチを見せても良い。		
<b>活動</b> 10分	○自己紹介の練習 Hi, I'm ~. I'm ~(years old). I'm from ~. I live in ~. I have ~. I like ~. Thank you. ○なりきり自己紹介 スポーツ選手、タレントになつたつもりで、上記の項目から簡単なことを2,3個選んで言ってみよう。	○黒板に左記の英文を書き、確認しながら練習をする。	
<b>活動</b> 12分	○自分のことを伝えよう ①相手によってどんな内容が必要かを考える。 日本人、外国人、同じ年かどうか、場所など。 ②個人で練習。 ③グループ内で練習。	○教師が選択してもよい。 ☆個人的に支援をする。	
<b>振り返り</b> 3分	○振り返り ○終業のあいさつ H: That's all for today. C: Thank you, ~先生。 Thank you, ~先生。 H (A): You're welcome. Have a nice day.		